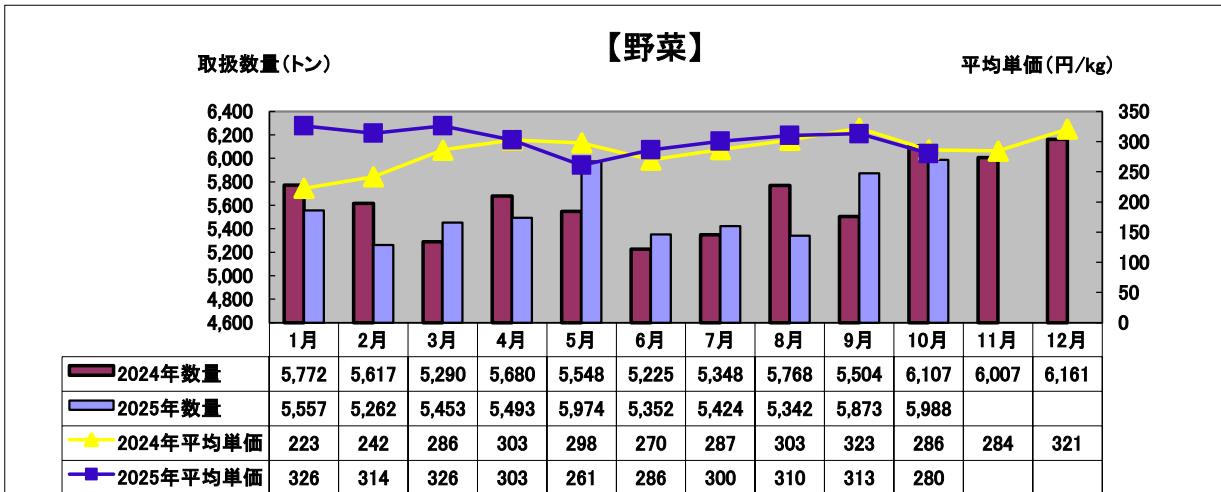
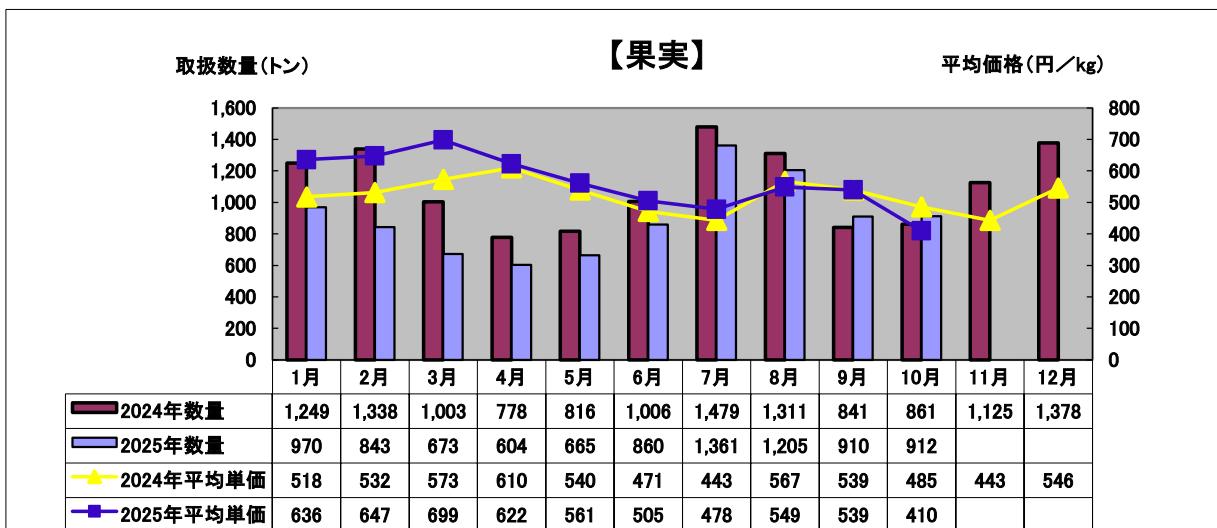


令和7年(2025年)10月 青果部種類別市



土物・葉物は夏場の猛暑の影響で出来が悪く、小振りで数量減・単価高となりました。果菜類は中旬までは順調な入荷であったが下旬にかけて数量が伸び悩み、結果として、数量、平均単価ともに平年並みに推移しました。

前年比数量 98%、平均単価 98%で終了しました。



昨年不作であった極早生みかんが前年数量を大きく上回り取扱数量の増加に寄与しました。しかし高単価のブドウの数量が減少し、全体としてみると前年と比べ数量はやや増加、単価は減少しました。

前年比数量 106%、平均単価 84%で終了しました。